

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	飯田港東防波堤被災メカニズム解明に関する研究委託
契約担当官等の氏名並びに所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 北陸地方整備局副局長 神谷 昌文 新潟市中央区美咲町 1 - 1 - 1
契約締結日	令和 6 年 8 月 8 日
契約の相手方の氏名及び住所	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 神奈川県横須賀市長瀬 3 - 1 - 1
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥ 6 3 , 8 9 0 , 2 0 0 . -
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥ 6 8 , 3 1 0 , 0 0 0 . -
随意契約によることとした理由	本業務は、能登半島地震により被害を受けた飯田港東防波堤の被災メカニズムの解明に関する研究を行うことを目的とする 本業務実施に当たっては、下記の要件が必要となる。 ①能登半島地震で発生した津波を的確に再現するため、3次元津波シミュレーションを適切に再現する高度な知見と能力を有すること。 ②水理模型実験装置を用いて津波の状況を再現させ、消波ブロック被覆堤に作用する波力、傾斜堤の必要重量算定時に使用する移動限界イスバッシュ数を算定できる高度な知見と能力を有すること。 ③遠心模型実験装置を用いて地盤状況を再現させ、地震動による地盤及び防波堤の挙動を把握できる実験を実施する能力を有すること。 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所は、下記のとおり要件を満たす高い能力を有している 地震・津波災害による構造物への影響に関する多数の3次元モデルを含む数値解析の研究実績があり、研究成果を学術講演会等において投稿していることから、3次元モデルによる的確な津波の再現による構造物への影響を把握するための高度な知見と解析技術を有していると判断できる。 また、津波波力を作用させた防波堤等の挙動を把握できる水理模型実験や、地震発生時の地盤の挙動を把握できる遠心模型実験を行った実績があり、本実験を実施する能力を有していると判断できる。 上記より、本業務を実施するに当たって必要不可欠となる地震及び波と流れの同時作用による防波堤の被災メカニズム解明について、高度な知見と技術力を有することから、上記①～③の要件を満たしており、本業務を実施できる者であると判断される。 また、本業務の発注にあたり、参加希望の有無を公募により事前確認を行ったが応募者はいなかった。

	以上のことから、同法人は、本業務を効率的且つ確実に実施する唯一の機関であると判断されるので、会計法第29条の3第4項「契約の性質又は目的が競争を許さない場合」に基づき、国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所と随意契約するものである。
備 考	